

医療者・医療機関向け虐待対応啓発プログラム

BEAMS Stage 3 in 仙台

2024年9月21日(土)～22日(日)

日本子ども虐待医学会(JaMSCAN)主催の、医療者および医療機関向け子ども虐待対応啓発プログラム BEAMS を宮城県仙台市にて開催いたします。

前日の9月20日(金)には、ケースレビュー委員会主催 第21回事例検討会を開催いたします。多くのご参加をお待ちしております。

■会場:仙台市立病院(宮城県仙台市太白区あすと長町一丁目1番1号)

<https://hospital.city.sendai.jp/info/access.html>

■対象:医療従事者・子ども虐待対応に関わる関係機関の方

■日程:



| | | |
|----------|-------------|---------------|
| 9月20日(金) | 18:00～20:30 | 第21回事例検討会 |
| 9月21日(土) | 9:15～10:15 | BEAMS Stage 1 |
| 9月21日(土) | 10:30～12:00 | BEAMS Stage 2 |
| 9月21日(土) | 13:00～18:00 | BEAMS Stage 3 |
| 9月22日(日) | 9:00～16:30 | BEAMS Stage 3 |

参加費:

Stage 1 2,000円(非課税)

Stage 2 3,000円(非課税)

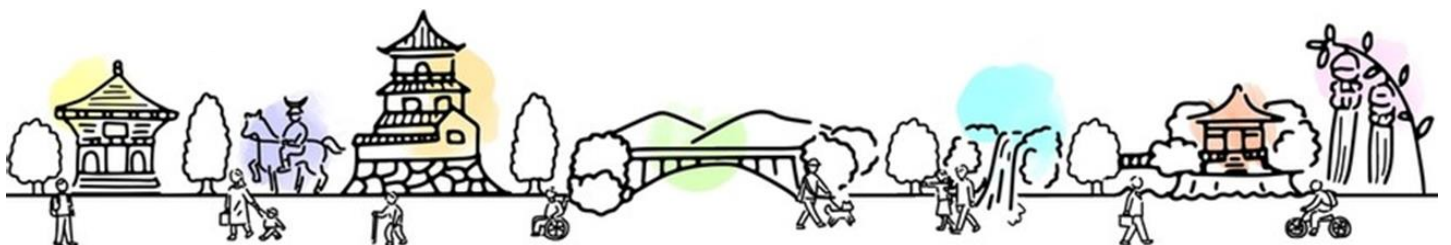
Stage 3 正会員:33,000円(不課税) 非会員:38,500円(非課税)

ケースレビュー委員会主催

第21回事例検討会 1,500円(非課税) ※参加資格あり

◆お申込みはホームページから◆

<https://beams.childfirst.or.jp/event/>



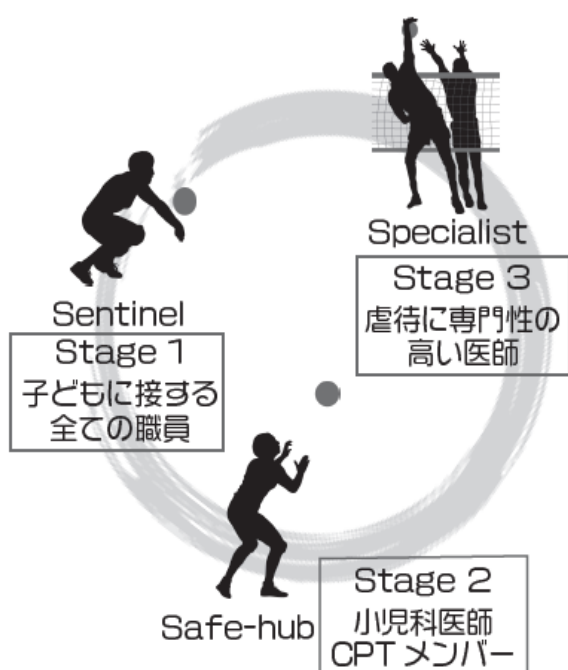
BEAMS

医療機関向け虐待対応
啓発プログラム



皆で虐待の問題に光を当て
崩れゆく家族を梁のように支え
子どもに心からの笑顔を取り戻してほしい

*beam=光の束、梁、心からの笑顔



Stage 1:

虐待を早期に発見し通告することの意義を理解し、危機管理の視点のみならず育児支援の視点で、Sentinel（見張り番）となる。

Stage 2:

虐待の可能性のある子ども／親との接し方の基本を学び、地域と家族を適切に繋げる（安全の架け橋：Safe-Hubとなる）こと、ならびに急性期に求められる医学的検査・カテゴリー診断ができるようになる。

Stage 3:

専門医師として求められる対応を、ロールプレイなどを通し積極的に理解し、実践的対応能力の向上を目指す。Stage3の修了者は、地域での虐待対応の推進役となることが期待される。

Stage 1 受講者 26,118 人
Stage 2 受講者 7,011 人
Stage 3 受講者 302 人

子ども虐待対応の
共通言語として
全国に広がっています

*2024年5月末現在

2つの開催方法

招へい型：医療機関や地域（行政など）から講師派遣を依頼いただく
センター型：日本子ども虐待医学会主催で開催

開催依頼・開催情報や参考資料などはHPへ！
<https://beams.childfirst.or.jp>

